

発行所
千葉県葛飾区我孫子町役場
電話(あびこ)42・142・242
昭和34年7月30日 第三種郵便物認可
(発行日 毎月1日・16日)

あびこ

我孫子中学校の再建

我孫子中学校の不幸を、克服して一日も早く再建できるよう、全町民のご協力をお願いします。

一日も早く再建を
燃えない校舎が欲しい!!

我孫子中学の火災と対策

去る九月七日午前〇時四十分頃、我孫子中学校に発生した火災は、地元民および消防団、隣接の消防団などの応援と協力を得て、六教室への延焼をくい止め、午前三時三十分頃鎮火した。この火災で、皆さまにいろいろご心配とご協力をいただいたことについて、厚くお礼申し上げます。
火災の状況と今後の対策について、お知らせするとともに今後このような災害が、二度と起らぬよう万全の対策をこうします。

火災の発生

出火時刻は、午前〇時四十分頃、事務室附近から出火したものと推定されている。中学校から後場へ火災通報のあったのは〇時五十分(宿直員の報告)で、宿直員が電話を受けたのは、郵便局の交換の西側大教室を残して鎮火の手から受け継いだものであった。
さらに宿直員の報告によれば、電話を受けたときは、まだ起きており直ちにサイレンを約二十回吹鳴した、とのことである。火災の原因については、一部の新聞に報道されているように、警察が調査中である。

消火の状況

サイレンが鳴ってから約三分位で、第一分団の消防ポンプが到着し、正門おきの貯水池を利用して、正門おきの貯水池から放水した。第一分団の消防ポンプは、住宅の貯水池を使用し、第二分団は正門おきの貯水池から放水した。一時十五分頃、消防署の水筒付き消防ポンプが応援にきて、真校舎の消火にあたり、取手消防団の消防ポンプは、校舎裏側の宿直員が、中学校へ駆けつけたときは、すでに事務室附近は、火柱が二階を突きぬいており、火は廊下を

火災の状況

【消防が守った教室】



【消防が守った教室】

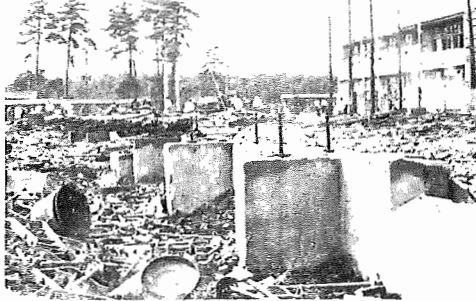
火災の状況と今後の対策について、お知らせするとともに今後このような災害が、二度と起らぬよう万全の対策をこうします。

消火の後始末

ひきの貯水池に水を送った。一時四十五分頃、海上自衛隊の科学消防自動車(飛行機)の火災も消火できた。二台が泡沫(薬品と水を混合)放水を開始、第八分団、布佐第三四分団も応援に駆けつけて、うやく火の手はおとろへはじり、新しく購入した理科備品と机、椅子、図書などの一部を救出することができた。特に小暮住宅の方、あるいは自発的に炊き出しをしてくれた高野山部落の方は、除の功勞者であった。

中学校の授業

一日も早く学校を再開しなければと、学校当局、PTA教育委員会等の協力により九日より授業を開始することができた。一年生は第二小



【火魔の去った朝】

民間の宅地造成と都市計画

わたしたちの我孫子町は、近年、住宅の建設がどんどん増えて、一日平均戸の家屋が建築されています。また首都圏内の住居都市としての発展がはつきりときばり、常磐線沿線・成田線沿線の地域は、首都圏整備の観点から、特別市街地開発区域としての指定も考慮されているようです。
本町は時代の移り変わりに対処するため、都市計画を市街地開発と農村部にはつきりと区別し、極力生産農地を減少せずに開発する計画を進めておられますが、好むと好まざるにかかわらず、必然的に市街地が伸びようとする地域については、総合計画の立場から開発を余儀なくされています。



【根戸の宅地造成】

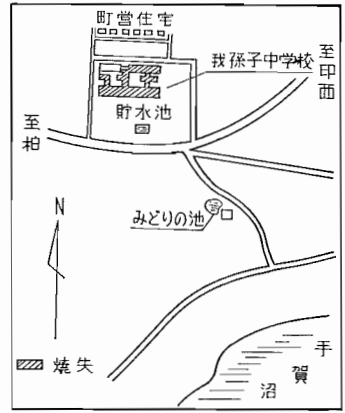
【被害の状況】

焼失面積	814坪
残り面積	150坪
損害額	約5,000万円
建物	約3,500万円
什器他	約1,500万円
学級数	22学級
生徒数	1,083人

表彰をうけた
須藤夏蔵さん
ことしの千葉県統計大会は八月二十二日午前十時から船橋中央公民館で開かれ、須藤夏蔵さんが、千葉県郡連合統計研究会会長表彰の栄に輝きました。

【被害の状況】

焼失面積 814坪
残り面積 150坪
損害額 約5,000万円
建物 約3,500万円
什器他 約1,500万円
学級数 22学級
生徒数 1,083人



【現場検証】

このように予防対策の万全を期することはもちろんであるが、全町民一致協力して、これを切にお願いたします。

